

ミシン業界の理想と現実 1号

ミシン業界の明暗

①



ミシン業界は1万円のミシンから100万円のミシンが売られています。
写真①は10800円 ②は15000円 ③は70000円④は1150000円 ③④はメーカーカタログ表示価格です。今回公開した訳は 持ち込み修理に来られたお客様がJ社の15年前のミシンでした修理見積が12000円と提示したら今は新しいのが1万円で買えるじゃないのの返答でした。ここで気を取り直して①の現物を見せて機能と品質を説明しました。

機能は直線とジグザグの2種類で50年前の機能ですと説明したところで、お客様の考えが変わり12000円で直すことにしました。お客様いわくこのミシンは愛着があるのよう、、、この事の問題は 専門店以外の通販、ネット、量販に行かれたら治るミシンも、大事なミシンが鉄くずになる事です。さらに届いたミシンを見て、使って後悔した人が多いのが現状です。

②



②はネット業者が利益無で販売しています。専門店の中にはおとりチラシ同様 おとりネットで客寄せに使っています。来店されたお客様に不具合を見せて他のミシンを勧める仕掛けです。

③



この国の企業は国際競争と自由化の国政と価格競争（民間）に振り回されています
一例ですが最近話題の建設の手抜き 牛丼も家電もどこよりも安いです。
テレビcmには
115000円のところ75%引きの28750円だと価値を誇大広告していかにもいいものが買得と思わせる。事はやめて欲しいです。お客様も実売が価値（適正価格）と判断しましょう。
値引き競争で適正な利益から納税 国の財政再建になるのでしょうか
一番大切なお客様の満足は得られるのでしょうか
お客様の代弁として（ミシン嫌いになるミシン）①②を提示しました。
どなたかメーカーさんでもお客様でも賛否ご意見を頂けたらありがたいです

④

